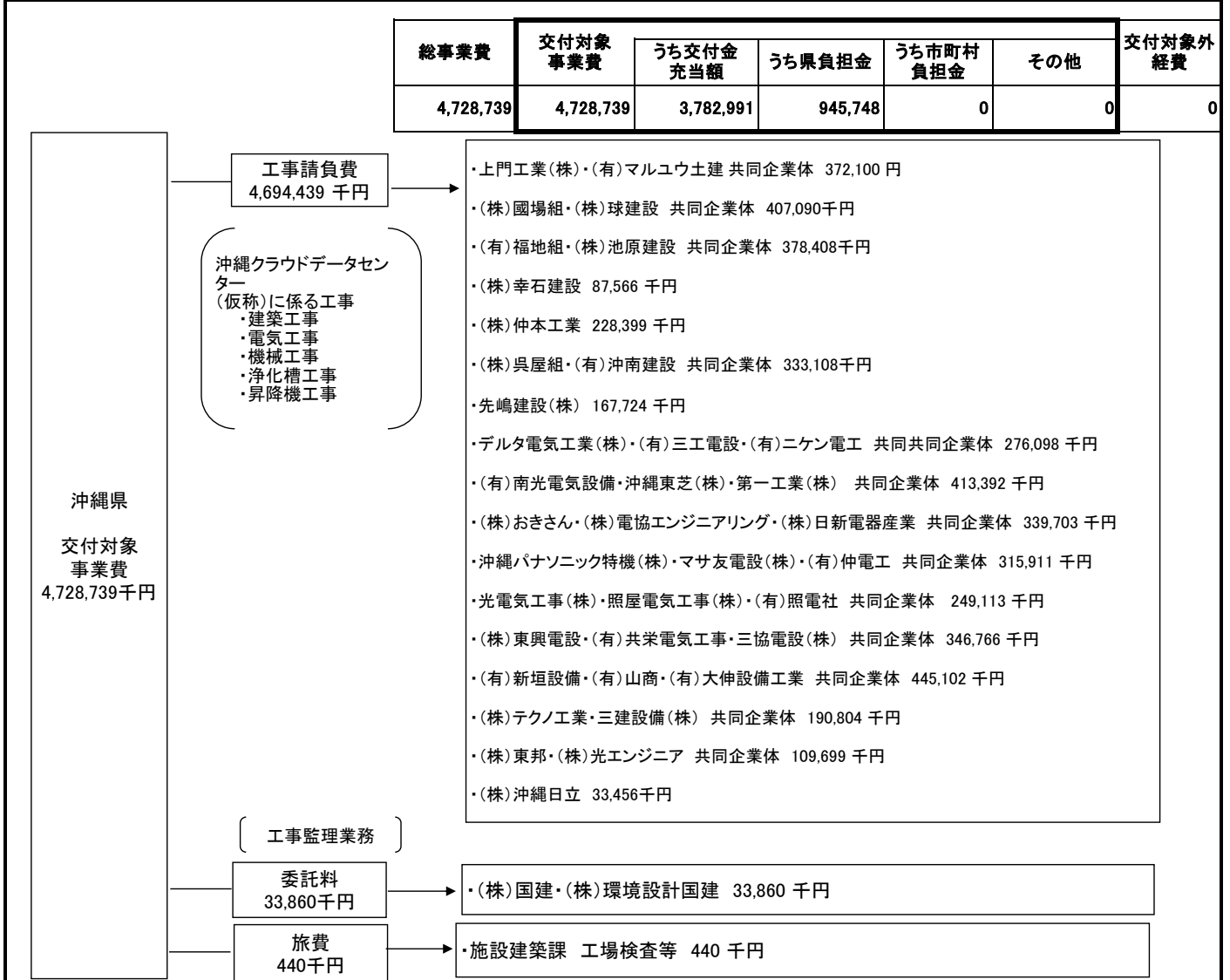


平成25年度（事故繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	150	沖縄型クラウド基盤構築事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(3)-エ	
					情報通信関連産業の高度化・多様化		
担当部課名	商工労働部 情報産業振興課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 27 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(2)	
事業内容	クラウド・コンピューティング等の新たな高付加価値サービスを創出するとともに、国内外のバックアップ/リスク分散化拠点を形成し、企業立地の促進や情報通信関連産業の振興等を図るため、クラウド・データセンターの集積に必要な共通基盤とデータセンター施設を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（旅費）						
予算額・執行額 【単位：千円】	予算の状況		24年度	25年度	25年度(繰越)	25年度(事故繰越)	26年度
		(a) 当初予算額	428,700	4,756,350	—	—	—
		(b) 予算現額	433,450	4,756,350	—	—	—
		(c) 増減額 (b-a)	4,750	0	—	—	—
		(d) 前年度繰越額	—	191,162	3,017,076	276,692	—
	A. 計 (b+d)		433,450	4,947,512	3,017,076	276,692	—
	B. 執行済額		240,121	1,739,274	2,712,773	276,692	—
	うち交付金充当額		192,096	1,391,419	2,170,219	221,353	—
	C. 次年度繰越額		191,162	3,017,076	276,692	—	—
	執行率 (%) (B/A)		55.4%	35.2%	90%	100.0%	—
予算の状況の説明		【データセンター施設整備】 データセンター施設の一部工事において設置予定の機器が、製造過程で火災に遭い、H26年度中の設置が見込めないことから事故繰越し、H27年度に完了したところである。 【工事監理業務】 データセンター施設整備と同じ理由から次年度に予算を繰越し、業務を完了したところである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・データセンター施設の工事発注 (建築、電気、機械、昇降機工事)	目標	—	データセンター施設の工事発注	—	—	
		実績	—	データセンター施設の工事発注	—	—	
		目標					
		実績					
達成状況説明	【データセンター施設の工事完了】 データセンター施設工事において、使用機器が製作過程で火災に遭い工事の一部をH27年度に繰越すこととなったが、施設全体の工事を完了したことから活動目標を達成した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値	24年度	25年度	26年度	目標値
	・データセンター施設の整備完了	目標	—	—	施設整備の完了	—	—
		実績	—	—	施設整備の完了	—	—
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	データセンター施設工事の一部において不測の事故が発生したものの、今年度中に施設整備を完了したことから成果目標を達成している。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> クラウド環境を含めた県の施策を周知することで、県内データセンターの拡充や、国内外の民間データセンター事業者の誘致を促す必要がある。 県内データセンターが県外企業とデータ通信する上で、通信コスト高が課題となっている。 ディザスタリカバリ(DR:災害などによる被害からの回復措置)や事業継続計画(BCP)の考え方が見直される中、地震や津波などの来襲時に、首都圏等と同時被災リスクの低い沖縄へ立地を検討する企業が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際海底光ケーブルネットワーク、沖縄クラウドネットワーク及びクラウドデータセンターの3つの基盤を周知することで、更なる利用促進を図り、企業集積を加速する必要がある。 ボリュームディスカウント(大規模取引による低廉効果)により通信コストが低減できることから、知名度の高い大企業や大容量のデータを扱う企業に対し、県内データセンターの利点等を周知し、利用促進を図る必要がある。 GIX回線とインターネットVPN(Virtual Private Network:専用線網)回線に、新たに構築された国際海底光ケーブルネットワークを加えることで、冗長化対策(システムの一部に何らかの障害が発生した場合のバックアップ)が強化されることから、これらを活用する利用企業の集積促進を図る必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 県内クラウド環境の機能向上、安全性の確保等の整備拡充を図り、利便性を高めることにより利用企業のさらなる集積を目指す。 国際海底光ケーブルネットワークの活用について、ホームページやセミナー等を通して知名度の高い大企業等に引き続き周知することで、県内への立地を促し、ボリュームディスカウントを含めた通信コストの低減化を図る。 県内データセンター事業者や通信事業者で構成するアジア沖縄iDC(Internet Data Center)協議会と連携し、県内クラウド環境の活用や、首都圏企業及びアジア市場の取り込みに向けた展開を支援することで、企業集積を加速させる。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負者は、総合評価方式による一般競争入札等により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当である。 ○産業振興に資するとともに、公共性の高い事業であることから妥当である。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から、支出等に関する書類により確認したところ、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

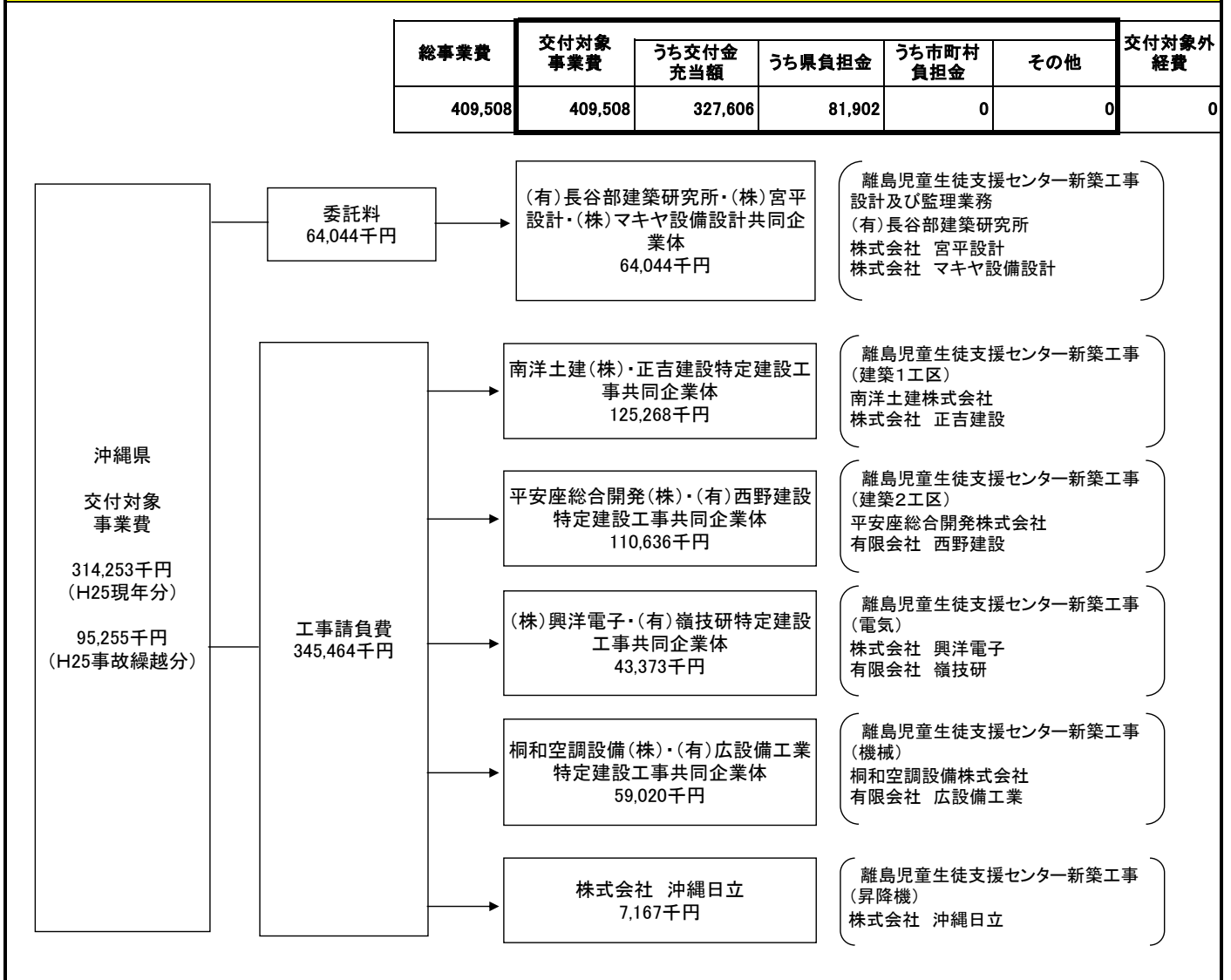
平成25年度（事故繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	207 離島児童・生徒支援センター(仮称)整備事業	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 27 年度	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
				沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
担当部課名	教育庁 教育支援課				III-9		
事業内容	高校のない離島出身者の経済的負担の軽減を図るとともに、離島振興に資するため、高校進学する際の生徒の寄宿舎(寮)及び小・中・高校生との交流の拠点としての機能等を併せ持つ施設の整備に向けて設計及び工事等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計(b+d)	24年度	25年度	25年度(繰越)	25年度(事故繰越)	26年度	
		12,903	64,583	—	—	0	
		12,903	533,264	—	—	0	
		0	468,681	—	—	0	
		—	—	216,784	95,255	—	
	B. 執行済額	8,862	314,253	0	95,255	0	
	うち交付金充当額	7,090	251,402	0	76,204	0	
	C. 次年度繰越額	0	216,784	95,255	0	0	
	執行率(%) (B/A)	68.7%	—	0.0%	100.0%	—	
	予算の状況の説明	・委託料の入札残及び旅費の執行残により不用額が2,226千円発生しているが、当初計画どおり事業を実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・建設工事の着手が3月になったため、次年度に工事請負費等の繰越が発生している。 ・平成26年度に建築現場より埋蔵文化財が発掘されたことにより工事が中断し、繰り越した工事請負費等は平成26年度に執行できず、事故繰越として平成27年度に全額執行している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	離島児童・生徒支援センター(仮称)の設計及び工事等の実施	目標	—	設計を実施し、建設工事に着手する			
		実績	—	設計を完了し、建設工事に着手した			
	(参考) 設置方針の策定に向けた調査(設置場所、規模等)	目標	調査を実施し、設置方針を策定する	—			
実績		調査を実施し、設置方針を策定した	—				
達成状況説明	・離島児童・生徒支援センター(仮称)の整備に向けて、設計を行い、年度内に建設工事に着手することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	・設計の完了 ・建築工事着手	目標	—	—	設計を実施し、建設工事に着手する		離島・児童生徒支援センター(仮称)の完成
		実績	—	—	設計を完了し、建設工事に着手した		
	(参考) 設置方針の策定(設置場所、規模等)	目標	—	調査を実施し、設置方針を策定する	—		
		実績	—	調査を実施し、設置方針を策定した	—		
進捗状況説明	・離島児童・生徒支援センター(仮称)の整備に向けて、設計を完了し、3月には建設工事に着手でき、成果目標を達成した。 ○設置場所:那覇市東町 ○施設の規模:寄宿舎機能 定員120名 交流機能 100名程度 ○平成26年4月9日 那覇市の埋蔵文化財事前審査(試掘)により埋蔵文化財を確認、埋蔵文化財の発掘調査を平成26年7月~同年12月に実施。建設工事再開の遅れにより開所予定日を平成28年4月1日に変更						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設計にあたっては、関係市町村の要望等を取り入れ仕様の変更を行う等関係市町村との連携を重視して事業を進行した。 平成27年4月1日の開所に向けて工事を推進する。 (平成26年4月9日 那覇市の埋蔵文化財事前審査(試掘)により埋蔵文化財を確認、埋蔵文化財の発掘調査を平成26年7月～12月に実施予定。建設工事再開の遅れにより開所予定時期を平成28年1月に変更) 	<ul style="list-style-type: none"> 施設備品等の整備についても関係市町村の要望等を取り入れ、施設の機能の充実を図るため、定期的に担当者会議を開催する。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月の開所に向けて、建設工事を進め、施設備品の購入等開所に向けた準備を進める。 (平成26年4月9日 那覇市の埋蔵文化財事前審査(試掘)により埋蔵文化財を確認、埋蔵文化財の発掘調査を平成26年7月～同年12月に実施予定。建設工事再開の遅れにより開所予定時期を平成28年1月に変更) 離島児童・生徒支援センター(仮称)の施設整備の実施。監理・運営方法の具体的検討を行う検討会議、担当者会議を定期的に開催する。 (平成26年4月に埋蔵文化財が確認されたことから、文化財保護法に基づき記録保存を行う為に発掘調査(平成26年7月～同年12月)を実施した。(発掘調査終了後の平成27年1月より、平成28年1月の開所に向けて建設工事を再開した。)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者の選定にあたっては、対象工事内容や関係機関の要望等を熟知しておく必要があることから、設計業者と随意契約を行っている。 ○工事請負費の選定方法については、一般競争入札によるものであり、適正である。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものに限定して実施し、完了検査を行うことで支出内容の確認を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	